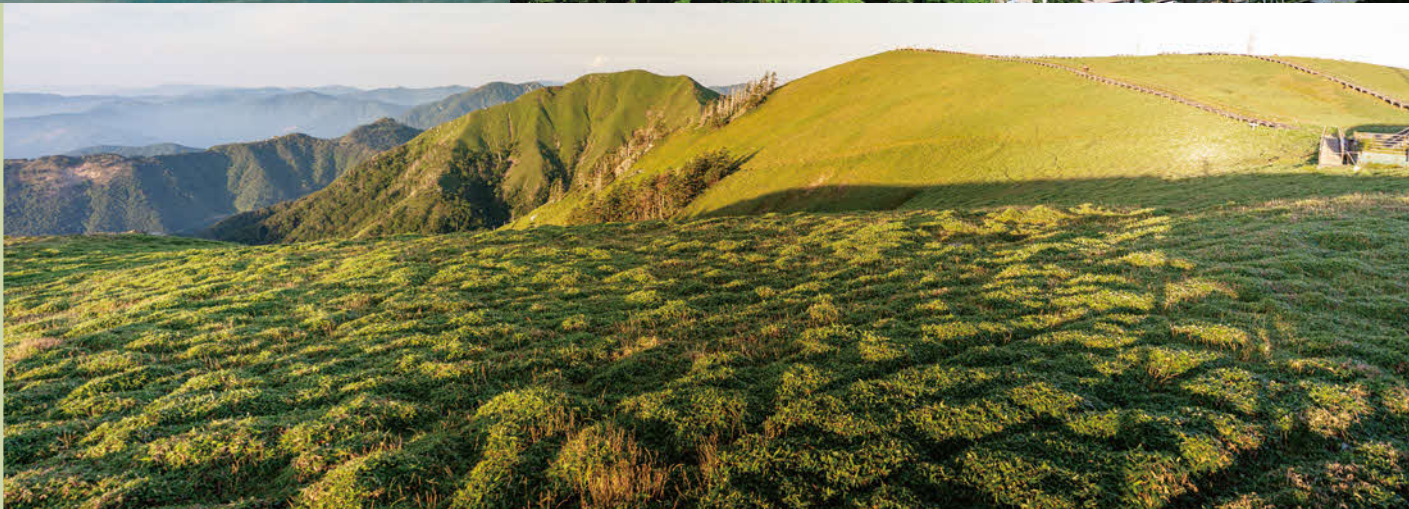




動く大地を旅するガイドブック
三好ジオパーク構想
Miyoshi Geopark Project Area Map



SNS Access



ようこそ!三好ジオパーク構想へ!

三好ジオパーク構想エリアは徳島県の西の端、三好市と東みよし町からなるエリア! ちょうど四国の真ん中あたりに位置しています。そんな三好ジオパーク構想には、剣山をはじめとする高～い山々や、四国を代表する「吉野川」が流れていて、フシギでステキな風景が散りばめられています!このガイドブックと共に三好ジオパーク構想のフシギな風景を探る旅に出ちゃいましょう♪



Are you ready?

「めっちゃ楽しいぜ!!」な旅にしちゃう3つのワザ!

① 三好のことを情報収集しよう!



まずはパンフレットやホームページで情報収集♪

② フシギな風景を探しにいこう!



フシギでステキな風景が三好にはたくさんあるから探してみよう!

③ 風景のフシギを聞いてみよう!



風景のナゾを解くヒントはガイドさん!一緒に回ってたくさん聞いてみよう!

ジオパークってなに?

ジオパークは、地質・地形から地球の過去を知り、未来を考えて、活動する場所です。地球の過去の情報を一番知っているのは地質や地形です。そしてその上で様々な生物や私たち人々の暮らしが成り立ってきました。

ジオパークは、地質地形、生物、人の暮らしなどの繋がりをみんなで楽しみながら理解し、大切なものを守っていかうとするプログラムで、国内外、数多くの地域があります。

みなさんが住んでいる近くにもきっと、ジオパークになっている地域があるかも...!?



日本のジオパーク地域を見てみよう!



これは一体何!?! 三好エリアのナゾなものたち



蔓橋

祖谷の蔓橋や ゆらゆら揺れど〜♪

ひの字溪谷

超険しい〜!

不思議な三好エリアを探検しよう!

コエグロ

秋に現れる円錐状のもの!

祖谷のソウルフード!

祖谷そば

妖怪話

80種類以上棲んでいるって!

傾斜地畑

キツい斜めの畑(険しい)

大歩危峡

なんでこんな名前なの!?

キンツツジ

水が浸かる場所にあえて生えています…。

丹田古墳

徳島県内最古級!

うだつの町並み

富の象徴!

はっさく畑

おいしい平地の食べ物たち!

加茂の大クス

ドッシリ!町のシンボル!

これらは全部三好で見られるの?!

斜面のナジ



山の斜面に点在する集落「ソラ」

三好ジオパーク構想エリアにある四国山地や讃岐山脈の山の斜面を見てみましょう。

斜面には集落が点在しており、これらは「傾斜地集落」と呼ばれています。地元徳島では、この傾斜地集落のことを「ソラ」と呼ぶ人もいます。

これらの傾斜地集落の数は現時点で数百もこの地域にあります。

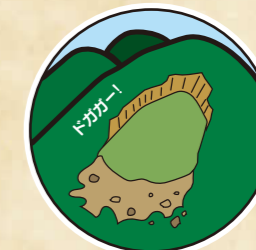
これらの傾斜地集落を遠くから眺めてみましょう。そうすると、周りの山の斜面と比べて、少しだけ緩やかになっている場所に集落がある様子がわかります。

詳しくは
10・11ページへ!



傾斜地集落では、斜めの土地の畑や狭い平地に家屋が立ち並んでいた様子を見ることができます。これらの集落は、四国山地内にも讃岐山脈内にもあります。

この傾斜地集落の土台「緩やかな斜面」は、過去に起きた地すべりによって作られました。なので三好ジオパーク構想には地すべりの跡地がたくさんあります。そしてその緩やかな土地の上に集落が築かれています。では、その地すべりを引き起こした大地はどうしてできたのでしょうか?



峡谷のナジ



四国の中でも超険しい峡谷!

三好ジオパーク構想エリアには、四国のなかでもとっても険しい箇所として知られている場所が3つあります。1つ目は吉野川のおおほげこぼり谷、2つ目が祖谷川の祖谷溪、そして3つ目は松尾川の竜ヶ岳です。

これらの場所はとっても険しすぎるため、近代以前は道路などは存在しておらず、人が立入るような場所ではなかったのです。

そんな険しい場所を、川面、道路、山頂などいろんな角度から見てみましょう。

詳しくは
12・13ページへ!



通常時

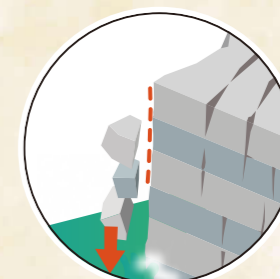


平成26年8月豪雨

大歩危小歩危峡の川岸をまずは見てみましょう。とても川幅が狭く、岩がむき出しになっています。いつもはとても美しい峡谷ですが、一度雨がふると増水してしまいます。

大歩危小歩危峡をはじめ、エリア内にある超険しい峡谷では、河川の増水によって周りの硬い岩が削られ、深い深い谷になっています。

では、これらの硬い岩は、どうやって作られたのでしょうか?...それは、約1億年前から始まる大地のストーリーが関係しています。



平野のナジ



吉野川が作り出した平らな大地!

吉野川の流れが大きく東へ変わる池田町。ここから吉野川の平野がどんどん広がり始めます。池田から下流域の吉野川の南岸と北岸を見てみると、北岸側の方が平野が広がっています。そして水はけが比較的良好いのも北岸側で、たくさんため池があります。

エリアの南岸にある池田町や井川町は少し土地が狭くなっています。これらの町は、昔、山間地域で栽培された葉たばこの集積・加工をして繁栄しました。一方で北岸地域の土地は水はけが良いので、水の確保に苦労してきました。...同じ吉野川の平野なのに、どうしてこのような土地の違いや歴史の違いができたのでしょうか?それは大地のなりたちが関係しています。

詳しくは14・15(池田)と
16・17(井川・東みよし町)、
18・19(三好)ページへ!



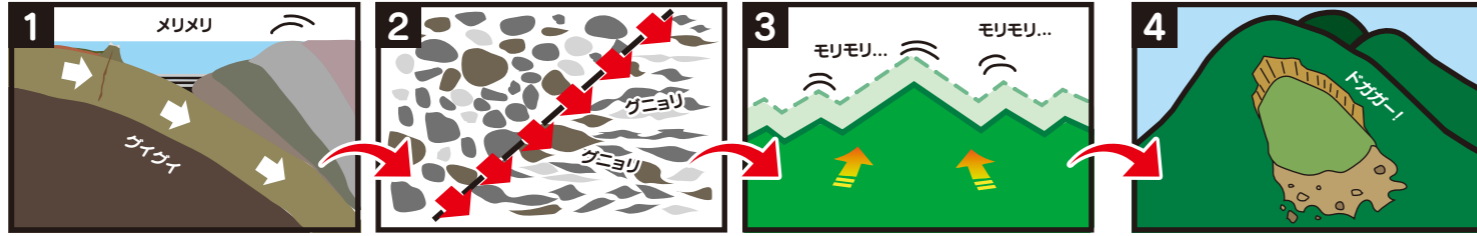
出典: 国土地理院 地理院地図(電子国土web)の空中写真に地域名を追記して掲載

こんな不思議な景色を生み出した大地はどうしてできたの?!



大地とのつながりを探しにレッツゴー!

地下深くで圧力を受けた後にググッと盛り上がり、高～い山々と深い谷をつくった!



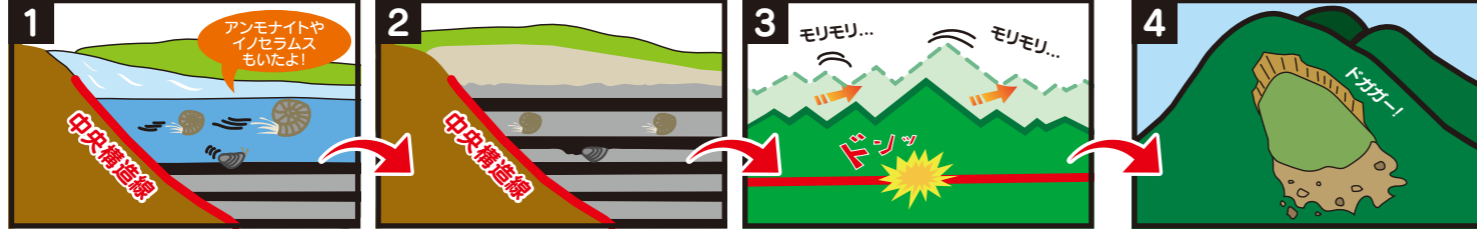
三好ジオパーク構想の四国山地の大部分を作っている結晶片岩。これらは元々、1億数千万年前または約9000万年前の海の底にあった、火山灰や砂や泥などの地層でした。その後、地下深く(十数kmくらい)に運ばれて強い圧力を受け、グニョリグニョリと水飴のように伸びたりして、元の姿から変身してしまいました。カラフルな結晶片岩の誕生の瞬間!

カラフルな結晶片岩 阿波の異石

結晶片岩たちは地下で圧力を受けたあと、地下から地表へググッと盛り上がりました。そして1500mを超えるような高い山々や深い谷を作りました。

山々の斜面では、いたるところで地すべりが起こりました。それは結晶片岩がとても割れやすい特徴を持つためです。この地すべりによって、山の斜面に緩やかな所ができ、傾斜地集落の土台となりました。

約8000万年前に海の底だった場所が盛り上がり、山脈となった!



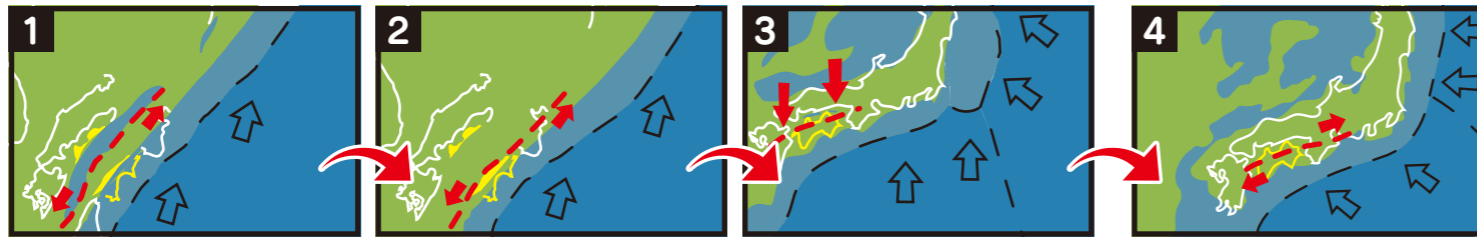
讃岐山脈のある場所は約8000万年前は海でした。この海は、すぐ南側にある中央構造線*に沿って大地がずれたことによりできました。*大地がずれることのできた大断層! 詳しくは下を見てね!

その後、大地のずれる方向が変わり、海だった場所が陸地になりました。

約300万年前には、大地のずれが今と同じ方向(右にずれる+北の大地が盛り上がる)に変わり、徐々に讃岐山脈ができあがりました。

讃岐山脈では地すべりがたくさん起き、傾斜地集落の土台を作りました。

今も元気にずれ動く、日本列島の中の大きな傷跡!



中央構造線は約1億年前にできた「大地の傷」。約8000万年前には大地は左へずれ動き、中央構造線の北側には「海」ができていました。

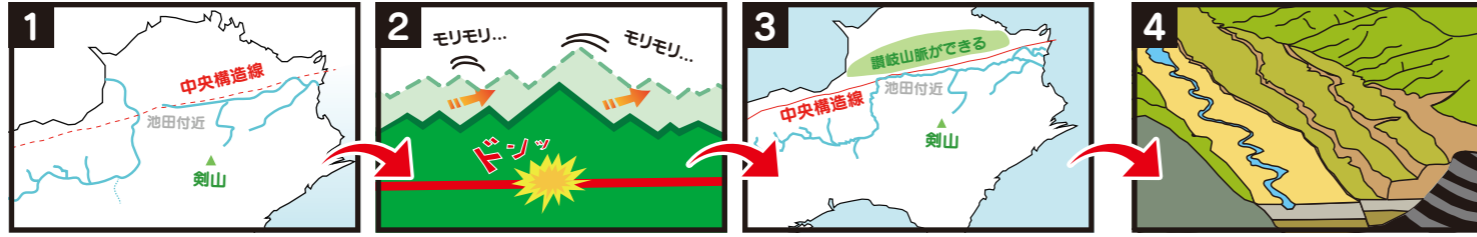
中央構造線に沿った大地のずれの方向が変わり、海だったところが陸地となりました。

ちょうど吉野川が瀬戸内(香川県側)へ流れていた時代である約300万年前の前の様子。

約300万年前から今と同じ方向へずれる(右にずれる+北の大地が盛り上がる)ようになりました。

➡ 中央構造線にかかる力 ➡ 当時のプレートの運動方向 - - プレートの境界 ■ 当時の陸地 ■ 現在の四国の陸縁

讃岐山脈にせき止められ、今の吉野川の流れが生まれた!



300万年前以前は、吉野川は北へ流れ、瀬戸内(現在の香川県)側へ流れていました。

約300万年前には、大地のずれが今と同じ方向(右にずれる+北の大地が盛り上がる)に変化し、徐々に讃岐山脈ができあがりました。

盛り上がりつつあった讃岐山脈。ついに約120万年前には、北へ流れていた吉野川をせき止め、現在の吉野川の流れを生み出しました。

吉野川が運んできた土砂と讃岐山脈がもたらした土砂が吉野川周辺にたまり、平野が作られていきました。

不思議な風景を作った大元!

四国山地

讃岐山脈

中央構造線

吉野川

三好ジオパーク構想の大地の成り立ち

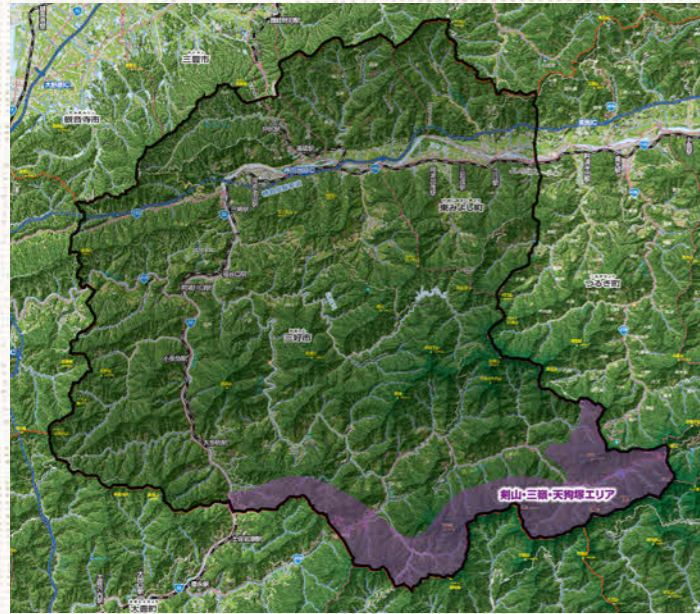
ハイライト

四国山地の高～い山々は別世界!!

剣山・三嶺・天狗塚
エリアをもっと知りたい!
右QRからアクセス!



守るべき大地の特長が
見られる場所
大地と関係した守るべき生態系が
見られる場所
大地と関係した守るべき文化が
見られる場所



1800～1900mの高峰たち

三好ジオパーク構想エリアの南東部には、1955mの剣山を始め、三嶺(1894m)、天狗塚(1812m)などの高峰がほぼ西東方向に連なっています。これらの山々の頂上付近では南北方向の風が強く吹く条件となっています。

そんな頂上付近は、背の高い樹木は生息しておらず、ササ類や低木のツツジなどが生息しており、高峰ならではの独特な風景を眺めることができます。

この高峰群でも最も高い標高を持つ剣山は、西日本で2番目に高い山として知られています。

代表的なサイト



カルチャー
サイト

剣山の御塔石

大劔神社の御神体として祀られている御塔石は石灰岩からできており、約3億年前の暖かく浅い海底にできた礁が石化したものです。

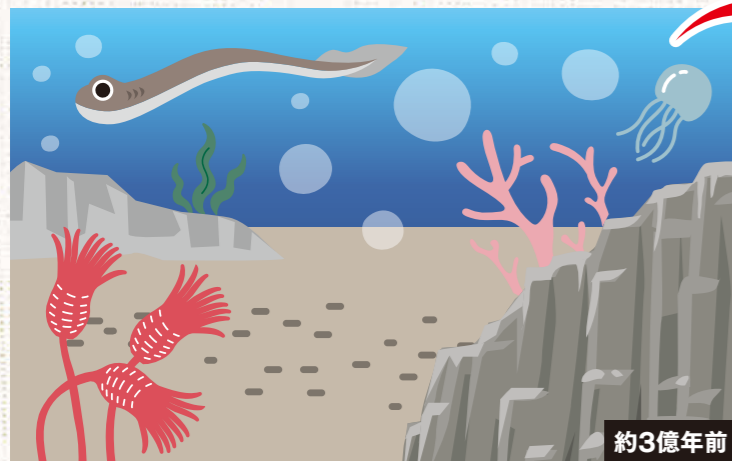


ED
サイト

三嶺・天狗塚のミヤマクマザサとコメツツジ群落

三嶺や天狗塚の頂上付近の平坦部や窪地にはミヤマクマザサが、岩場や急崖部にはコメツツジが生息し、地形などの自然環境によって生物の生息域が異なる様子を見ることができます。

1. 剣山の始まりは約3億年前!?



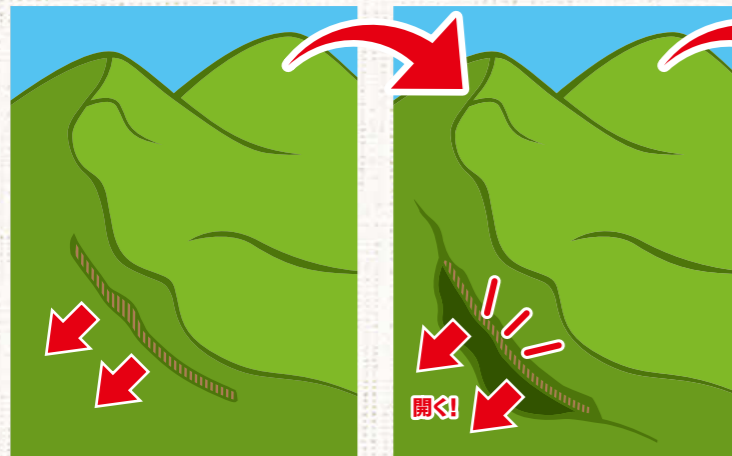
約3億年前



現在

剣山周辺を散策すると、白い石灰岩(例:大劔神社の御塔石)がちらほら見られます。この石灰岩の中から、約3億年前の浅く暖かい海に生息していたウミユリやコノドト(全長数cmの顎のない原始的な魚)などの化石が発見されています。西日本で2番目に高い山が大昔は海だったのです!

2. 高い山のとっぺんにある池のヒミツ



開く!



三嶺や天狗塚の頂上付近には、窪地があります。その窪地には、水が溜まって池になっているところもあります。この窪地は、稜線部分の斜面の岩盤が重力によって、下へ引っ張られることで稜線が変形し、できたものと考えられています。

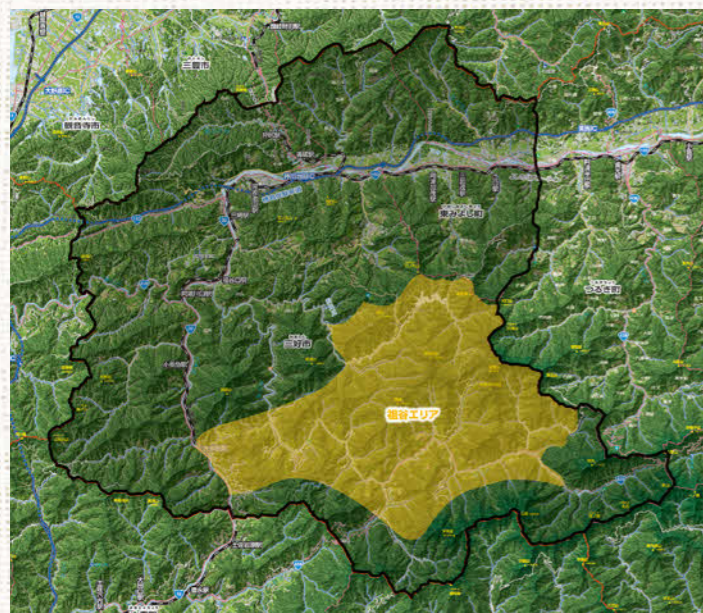
剣山周辺の 代表的な植物の分布

剣山(1955m)は四国で2番目に高い山。高い山は登るにつれて涼しくなっていきます。標高による気温の変化に合わせて生育・生息する生き物が違っており、見える景色が変わっていきます。





守るべき大地の特長が見られる場所
大地と関係した守るべき生態系が見られる場所
大地と関係した守るべき文化が見られる場所



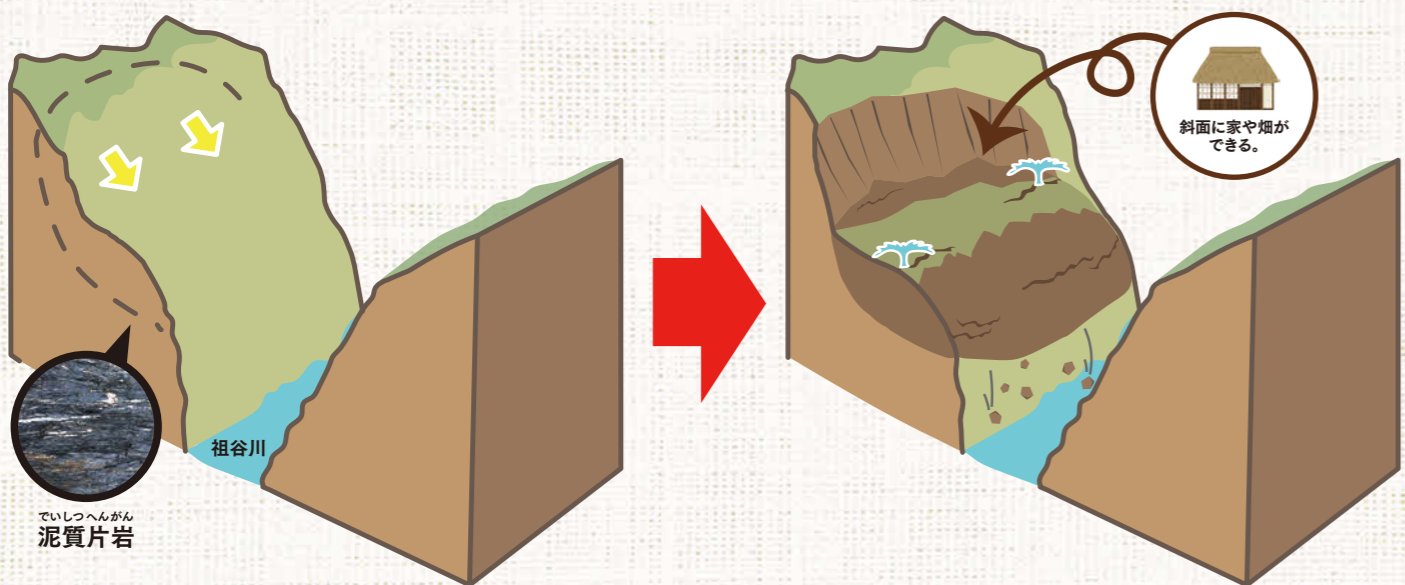
祖谷エリアは、祖谷川の中流～上流域にあたるエリアです。祖谷川や祖谷川の支流沿いの山の斜面には、集落が点在しています。これらの集落は「傾斜地集落」とも呼ばれています。傾斜地集落の中に入ると、山の斜面の上で暮らして来た知恵や工夫を見ることができます。

傾斜地集落がある場所を少し俯瞰して見てみると、集落がない所の斜面と比べて、集落のある斜面は少し緩やかになっています。

この傾斜地集落のある緩やかな土台は、過去の大地の変動が大きく関係しています。

集落の土台!斜めの土地を生み出したものは?

祖谷地区やその周辺では、山の斜面に集落が点在しています。集落のある場所は、周りの山の斜面と比べると緩やかな場所です。この緩やかな地形を作ったのは過去に生じた「地すべり」でした。



泥質片岩などの剥がれやすい岩石や急峻な地形が要因となって、地すべりは起こります。

地すべりが起こった所は、周りの斜面と比べて緩やかで、湧き水が出る箇所もあります。

代表的なサイト



落合集落

地すべりによりできた斜面の上に、江戸の中期から明治期にかけて造られた民家や石垣があります。傾斜地ならではの工夫がみられ、歴史的価値が高いことから、国の重要伝統的建造物群に選定されています。



祖谷の蔓橋

蔓橋は昔、集落同士をつなぐ交通路として活用されてきました。祖谷川には過去に十数本も蔓橋が架けられていた記録もあります。現在、西祖谷にある「祖谷の蔓橋」は国の重要有形民俗文化財に指定されています。



阿佐家住宅

中世以来の祖谷の名主の邸宅で、地すべりによって作られた緩やかな場所にあります。建物は山間部の上層農家の典型的な主屋の様相で、前庭や石垣などの屋敷構えを含めて、県の有形文化財として指定されています。



善徳の地すべり地形

善徳集落は、過去に何度も地すべりを起こし、緩やかな斜面になったところらに形成された集落です。またこの地域は、今後も地すべりを発生させる可能性があるため、国の地すべり対策工がなされています。

斜めの土地の不思議な風景



傾斜地の畑

傾斜地集落の畑は、ゴロゴロした礫がたっぷりの斜めの畑。とても水はけがよく、いくつもの種類の作物を栽培しています。

斜めの土地で採れる恵み



小さなじゃがいも 茶葉



畑の肥料 コエグロ

秋には左の写真のような干草を見かけることができます。これは、コエグロというカヤ(スキ)を円錐状に建て架けたもので、乾燥後、畑に敷き込む肥料として使います。



蔓橋の材料

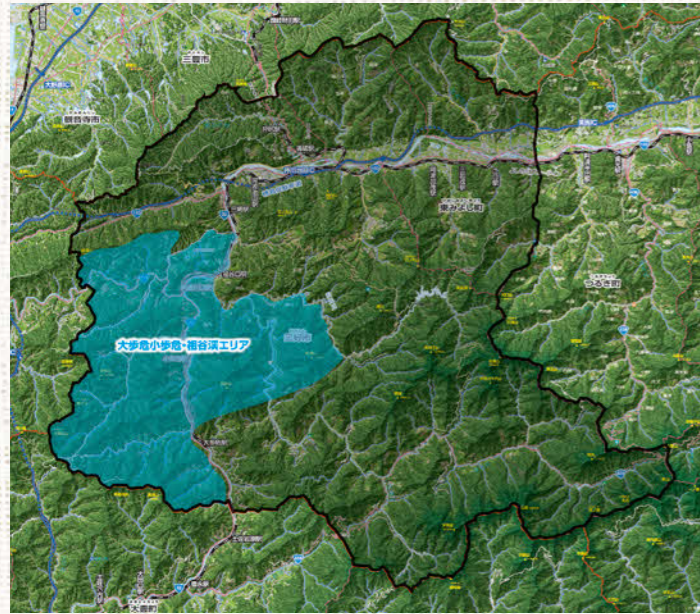
左の写真は、サルナシ(シラクチカズラ)の幹です。祖谷の蔓橋は3年に一度、架け替え工事を行いますが、その際には6トンのサルナシの幹が使用されます。

四国を代表する超険しい観光地は、どうしてできた?!

大歩危小歩危・祖谷溪エリアを
もっと知りたい!右QRからアクセス!



守るべき大地の特長が
見られる場所
大地と関係した守るべき生態系が
見られる場所
大地と関係した守るべき文化が
見られる場所



徳島県の中で有数の観光地として知られている大歩危小歩危や祖谷溪の一番のポイント、それは「とても険しい!」ということ。

四国山地は、西日本の中でもとても険しい山地ですが、その中でもとても険しいエリアの一つがこの地なのです。

その険しさは土地の名前にも関係していて、「大歩危小歩危」の「ホケ」という言葉は、古語で「川沿いの断崖絶壁」の意味があるのだそう。さて、この超険しい土地を生み出したのは一体何なんでしょうか!?



険しい溪谷を作る硬～い岩石のヒミツ

大歩危・小歩危峡の大地を作る「硬～い岩石」。その元々の姿は、約1億年前に海底にたまったレキや砂の地層で、プレート運動によって地下十数km付近に運び込まれ、ギュ～と圧力を受けて、砂質片岩・レキ質片岩という硬～い岩石になりました。その後、岩石が地下深くから持ち上がり、今の大歩危・小歩危峡の大地を作り出しました。

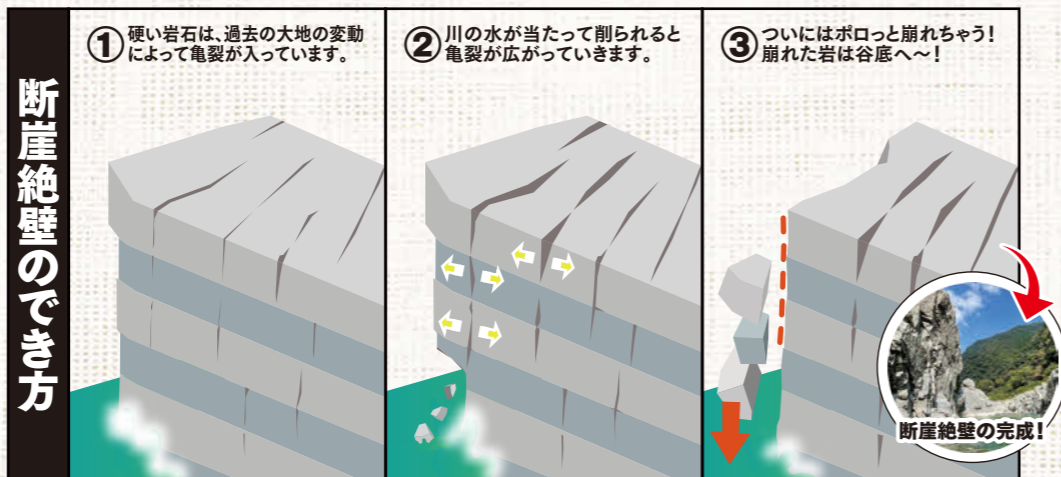


	泥質片岩
	砂質片岩
	含レキ片岩
	緑色片岩

険しい溪谷になった3つの理由!

大歩危小歩危や祖谷溪の断崖絶壁の風景は、①垂直に割れる「硬～い岩石」、②四国山地の盛り上がり、③水量豊富な「吉野川」の流れ、という3つの要素が関係してできました。

ユニークな地名である「大歩危・小歩危」の「歩危」という言葉は「川沿いの断崖絶壁」を示す古語。険しい溪谷だからこその名前だったんです。



険しさを体験するならここ!



大地の特徴がよくわかる場所



背斜構造

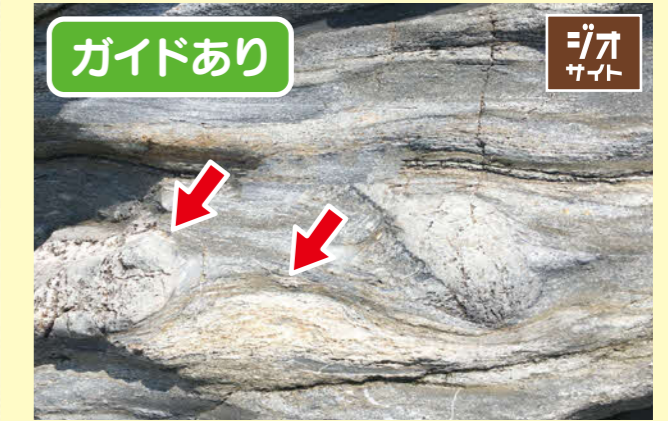
大歩危峡では、3つのポイントで、大きくドーム状にたわんだ地質の構造(褶曲)を観ることができます。

ひの字溪谷

大歩危小歩危峡の東にある国見山をさらに東へ超えた所にある祖谷溪。ここも超険しい断崖絶壁の地です。

その祖谷溪では、ひらがなの「ひ」の文字のように川が大きく蛇行している様子を見ることができます。

この大地も砂質片岩などの硬～い岩石からできており、そこへ祖谷川の水が流れることで硬～い岩石が削られ、特徴あるこの景観が誕生しました。



含レキ片岩

大歩危峡の観光遊覧船乗り場に行く遊歩道沿いと祖谷溪の2箇所で見られる貴重な岩石。地下深くで圧力を受け、レキが引き伸ばされた様子を観察することができます。



溪流沿い植物群

増水する岩場に生育する植物群。葉を細くするなど、水に流されない工夫が見られます。



妖怪伝承

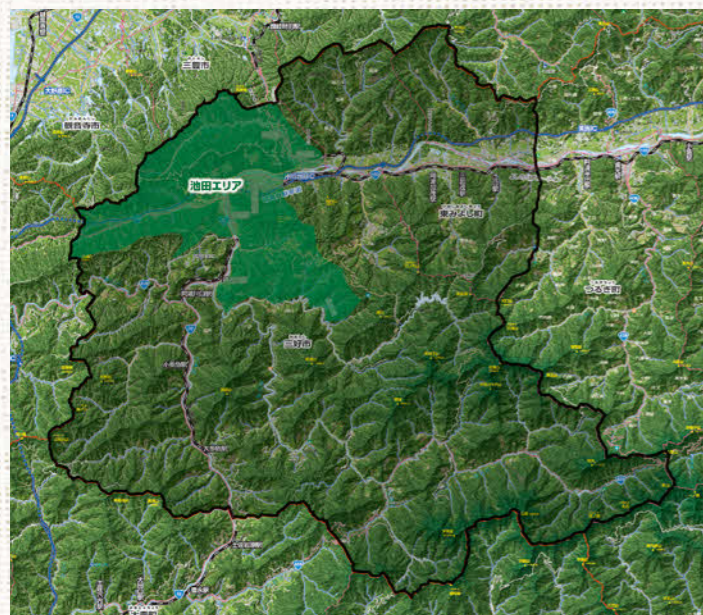
大歩危・小歩危峡や藤川谷沿いには、危険な場所があちこちにあります。そこにたくさんの妖怪話が残されているのは、危険な場所に近づかせないための工夫なのです。

池田エリア カククン折れ曲がる 吉野川 は偉大だった!

池田エリアをもっと知りたい! 右QRからアクセス!



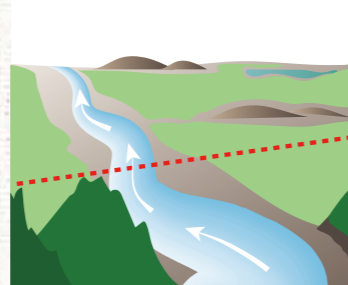
ジオサイト 守るべき大地の特長が見られる場所
ジオパーク 大地と関係した守るべき生態系が見られる場所
ジオ遺産 大地と関係した守るべき文化が見られる場所



池田エリアは、吉野川の流が「カククン」90度東へ折れ曲がる昔は違った流れ方をしていました。この吉野川の流れを変えた

場所。この吉野川の折れ曲がりによって徳島県の吉野川に関わる様々な文化が育まれました。この「カククン」折れ曲がる吉野川は、大元が「中央構造線」!どんな大地の物語があったのか、探ってみましょう!

カククン折れ曲がる! 吉野川の誕生のヒミツ



300万年前以前
この時代、讃岐山脈はありませんでした。吉野川は、北(香川)の方へ流れていました。

----- 中央構造線(池田断層)



300万年前~
中央構造線の活動によって、北側の大地が、右に横ずれしながら盛り上がり。それが幾度となく繰り返り、讃岐山脈ができました。

----- 中央構造線(池田断層)



100~200万年前
北(香川)の方へ流れていた吉野川は、盛り上がりつつあった讃岐山脈に遮られ、ついにカククン!と流れを東へ変えました。

----- 中央構造線(池田断層)

池田のまちの大地の成り立ち

流れを東へ変えた吉野川。その後、どうやって池田の町はできたのでしょうか?

[上空から見たイメージ図]



吉野川がカククン流れを東へ変えた後...



吉野川の川沿いに平地が生まれました。



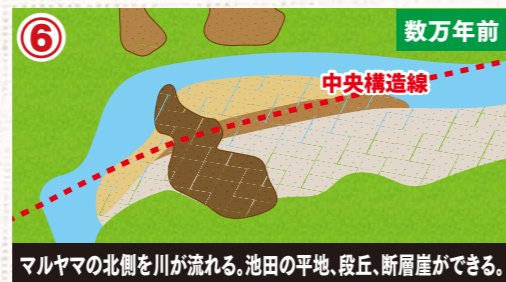
その後、隆起しつつあった讃岐山脈で地すべりが発生!吉野川の流れを塞いじったかもしれません。



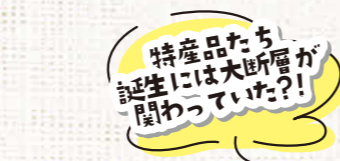
吉野川は滑ってきた土塊を超えて、再び東へ流れます。



またまた讃岐山脈から地すべりが発生!吉野川はまたもや土塊を超えて流れます。



土塊の流れを超えた吉野川は川沿いに平野を再び作ります。さらに、中央構造線の活動によって平野がずれ動き、崖ができました。



香川といえば?

讃岐うどん



中央構造線の活動によって、大きな河川(吉野川)を失った香川県。また、讃岐山脈の誕生によって降雨量が少ない土地になってしまったことで、お米の代わりに栽培されたのがうどんの素となる「小麦」でした。

徳島藩の経済を支えた

阿波藍

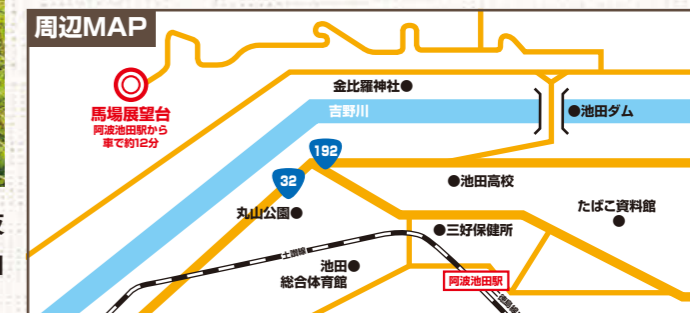


一方で、吉野川が流れる地になった徳島県は、吉野川の洪水に幾度もあいました。しかし、それを逆手に栽培したのが「藍」。洪水でもたらされた肥沃な土壌を活かして育てたのです。

池田エリアのイチオシ! 池田のまちの地形を一望! 馬場展望台



カククン吉野川、そして池田のまちを一望するならココ!讃岐山脈中腹にある馬場展望台です。吉野川が大きく東へ折れ曲がる様子は圧巻!



代表的なサイト



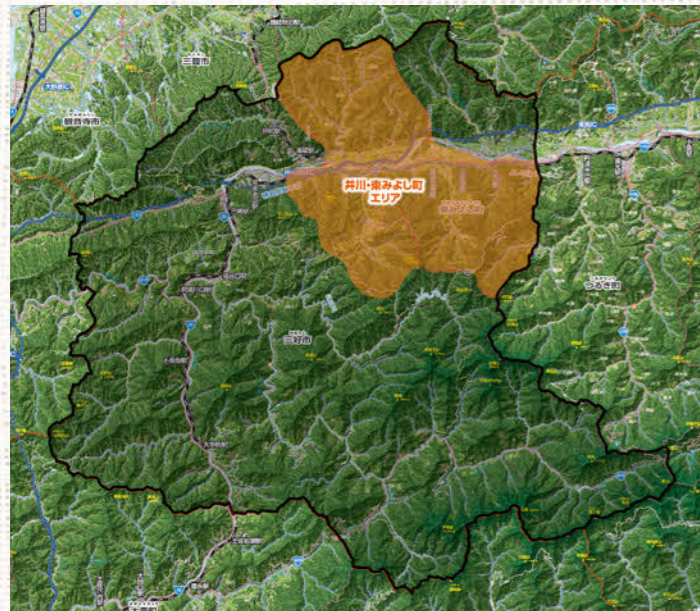
池田断層 断層崖

池田町ウエノとマチ・サラダ地区を分ける高さ20~30mの崖。この崖は中央構造線の活動で土地がずれ動いてきた「断層崖」です。



池田城跡の石垣

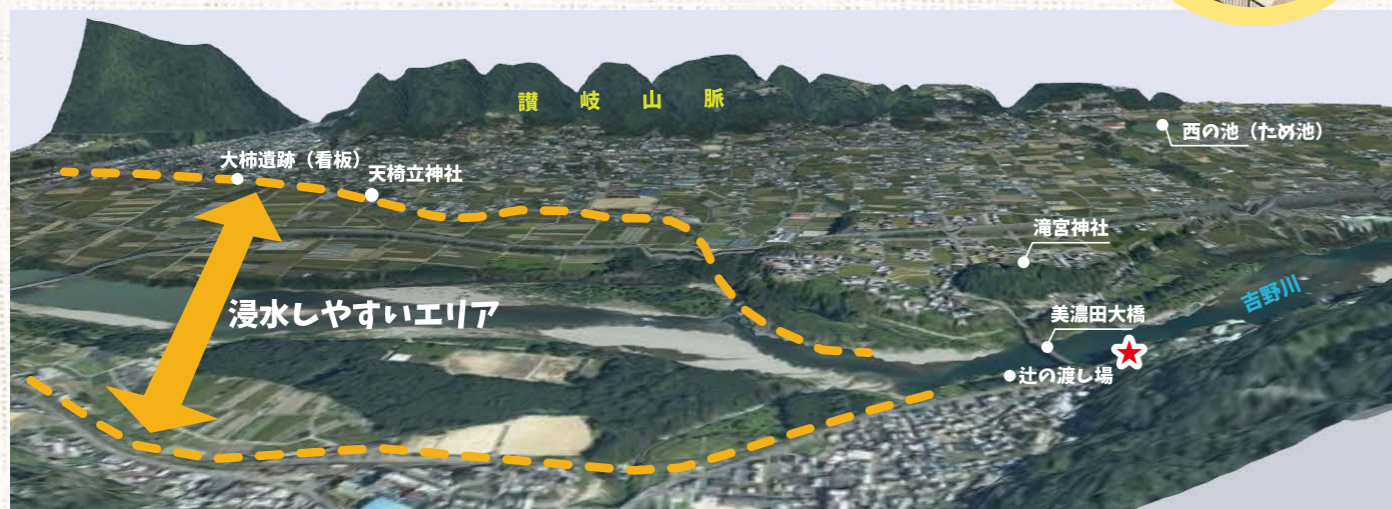
池田町ウエノ地区には、池田城跡があります。この池田城跡の石垣には、中央構造線を挟んで南側の石(結晶片岩)と北側の石(砂岩)をうまく組み合わせられて使われています。



吉野川中流にある東みよし町は、吉野川沿いや山間部に数多くの遺跡や古墳がある地域で、古代から人々がこの地で生活していたことを知ることができる地域です。また井川町の小さな平地にある辻町は、近世以降、刻みたばこ業で繁栄した地として知られています。そんな井川町と東みよし町では、吉野川が作り出した平地とともに暮らしてきた人々の物語を知ることができます。



狭くなる川幅がつくる、土地の風景



国土地理院背景地図（空中写真を3D画像にしたもの）を引用し、その上に一部加筆

南岸側から北岸の土地の様子をのぞいてみると、土地の使われ方が違っていることがわかります。上の写真の天橋立神社付近は、少し標高が低く水田が広がっていますが、美濃田大橋（写真中央付近）付近では川幅が狭くなります。さらに下流側の川岸は高く岩場がゴツゴツして、遺跡や公共施設が川岸近くに点在しています。

通常時



美濃田大橋あたりを流れる吉野川。通常時の水の量。スムーズに下流側に水が流れます。

増水時



吉野川の川幅が狭い美濃田大橋付近では、下流へ流せる量が限られています。そのため、大量の水が押し寄せた時には上流側が浸水してしまうのです。

大地の特徴がよ〜くわかる場所

ガイドあり



辻の渡し場跡

美濃田大橋の上流川のたもとにある辻の渡し場は、橋が架けられるには前、対岸同士を結ぶ船の発着場所でした。

ガイドあり



辻のまちなみ

南岸の狭い平地に位置する井川町辻町は、刻みたばこ業で栄えました。その繁栄の痕跡が、様々な商家跡としてまちなかに残っています。



天橋立神社の浸水記録

昭和29年9月に襲来したジューン台風による浸水記録としての紙が階段半ばの石垣に打たれています。（自然災害伝承碑）



腕山牧場

腕山は井川町の南側にそびえる山です。その山頂には地すべりによって出来た窪地がいくつかあります。ここには県営の放牧場があります。



加茂の大クス

樹幹は根回り約23m、幹回り約16mで、高さ約26mからなる樹齢1000年と推測されている大楠。加茂地域の巨木として知られています。



足代東原遺跡

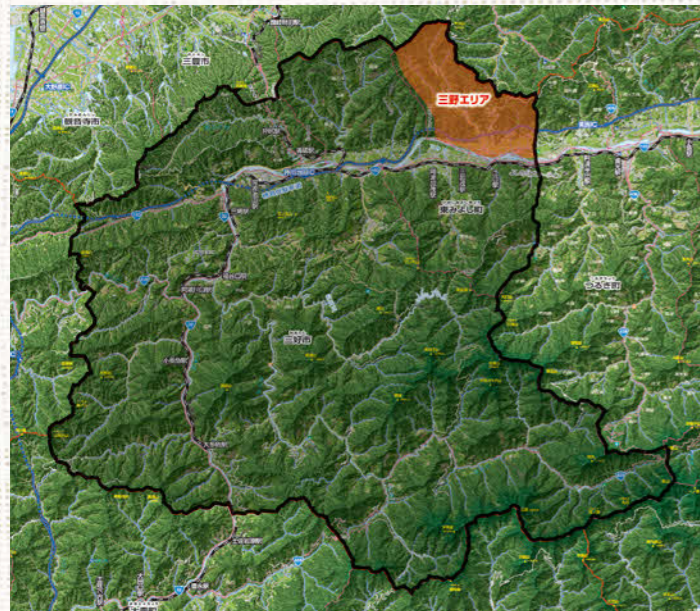
讃岐山脈から流れ出た礫を材料として使った積石前方後円墳や、46基以上の積石塚から構成される墳墓群で弥生時代末期のものと思われ、吉野川北岸用水水利事業時に発見されました。

三野エリア 吉野川北岸のヒミツ

三野エリアをもっと知りたい！
右QRからアクセス！



ジオサイト 守るべき大地の特長が見られる場所
大地と関係した守るべき生態系が見られる場所
大地と関係した守るべき文化が見られる場所



三野エリアは吉野川の北岸に位置します。三野町をはじめとするから流れてきた河川が作り出した扇状地がいくつもあり、周りの吉野川北岸の土地が誕生した背景に大断層「中央構造線」が深く関係しています。

吉野川の北岸の平野は、吉野川や讃岐山脈から運ばれてきた礫(れき)や砂が堆積してできました。讃岐山脈の裾野には、讃岐山脈平地と比べて河川の流れる場所が高くなっています。そして、扇状地の上は水はけが良く、様々な果樹や野菜が栽培されています。

三野の平野の誕生に大きく関係した大断層「中央構造線」



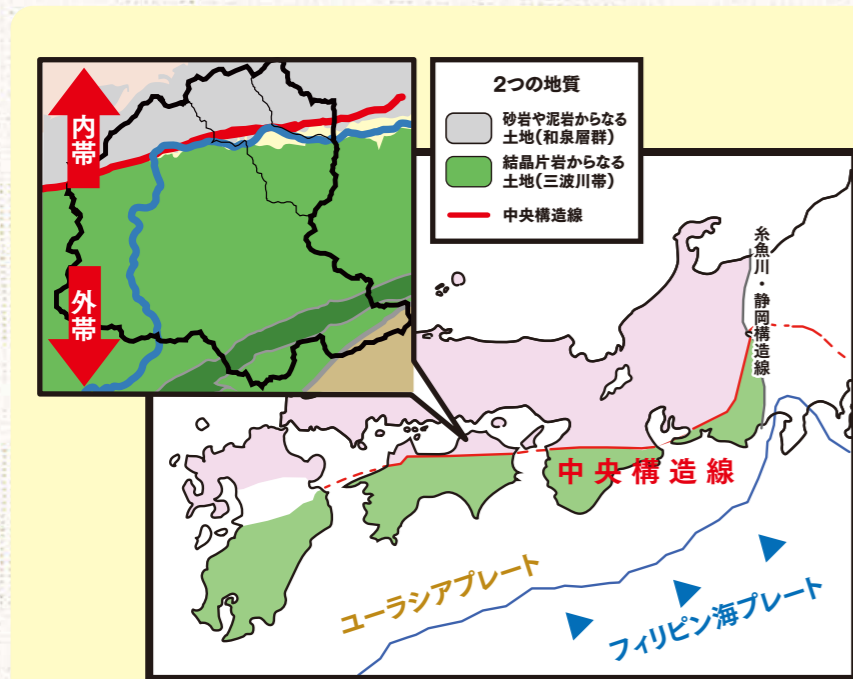
中央構造線が現在と同じずれ動き方(右横ずれ+北側の土地の隆起)を開始し、北側の大地が盛り上がり始めます。

中央構造線の活動によって讃岐山脈ができ始めます。

讃岐山脈と四国山地の間に平野が広がり、吉野川が流れるようになりました。

讃岐山脈からレキや砂が運搬・堆積していくつもの扇状地ができ、吉野川北岸の平野が広がりました。

中央構造線って何？



太刀野の中央構造線露頭



中央構造線は関東山地から九州東部まで続く長さ約1000kmにおよぶ国内第一級の大断層です。

「構造線」という名前は、地質を分ける断層につけられた特別な名前前で、四国では、北側の砂岩や泥岩からなる地質(和泉層群)と、南側の結晶片岩からなる地質(三波川帯)の2つの地質を分けています。

四国東部の中央構造線はとってもアクティブ。その活動の痕跡は崖や川の曲がりなど、地形の中にいくつも残されています。現在の中央構造線は1000~2000年間で活動していると考えられていて、中央構造線が一度活動すると「右に数m横ずれ+北側の大地が数十cm隆起」という土地の変化をもたらします。それらが数百万年間続き、現在の讃岐山脈が形成されました。

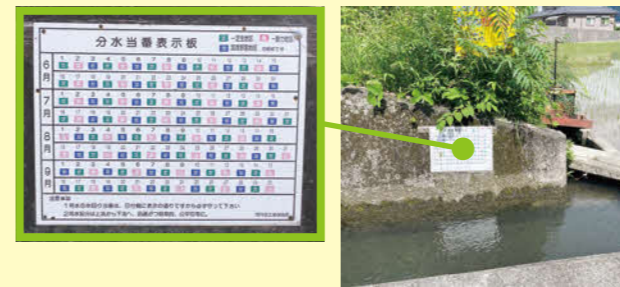
道の駅三野には、「太刀野の中央構造線露頭」と書かれた看板があります。その看板のすぐ横のスロープを降りていくと、橋の真下に地層が見える場所(露頭)があります(写真:赤矢印の場所)。ここには、「中央構造線」の破碎帯(断層運動によって砕かれた岩石や粘土など)を観察できます。※露頭はとても崩れやすいです。観察するときは入らないようにしましょう。

王地の扇状地



三野町は吉野川中流域の北岸に位置しています。三野町の平野は日当たりが良く、また、讃岐山脈の河川から運ばれてきたレキや砂によってできた「扇状地」と呼ばれる水はけの良い土地がいくつもあります。そんな扇状地の上では、「はれひめ」や「八朔」などの果樹が栽培さ

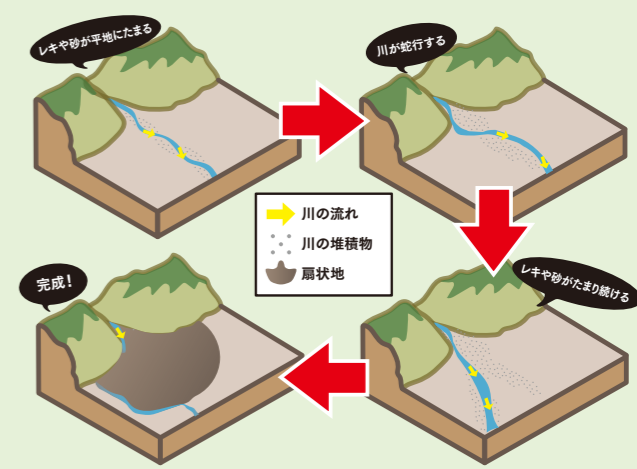
大地の特徴がよくわかる場所



三村用水

三村用水の様子を見てみると、6月~9月の農水期には3地区(芝生、勢力、加茂野宮)で交替で分水し、水を大切に扱っていることがわかります。

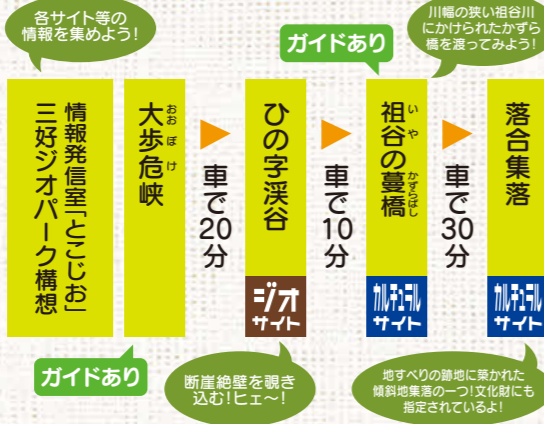
はれひめ・八朔を生み出した扇状地のでき方



「動く大地」を体感っ!モデルコース

①「ヒェ〜ッ!!険しい地形と人の暮らしを堪能する」コース 約4時間

三好ジオパーク構想エリアの中に点在している傾斜地集落のほとんどは、過去の地すべりが作った緩やかな地形の上でできました。それらの傾斜地集落の上では、特有の地形や気象などの自然環境に合わせた生活様式を見ることができま



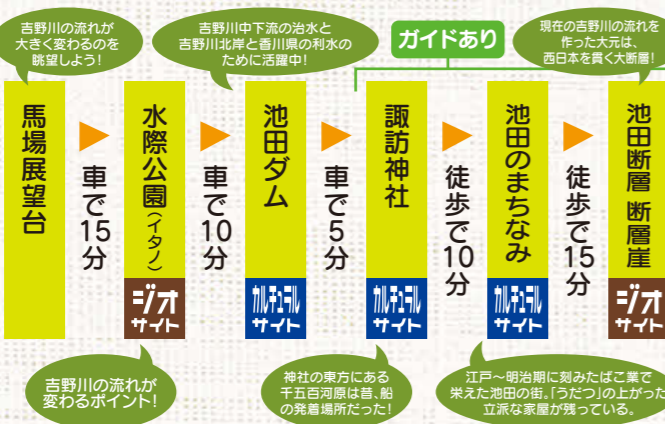
落合集落 場所 徳島県三好市東祖谷落合 MAP QR

にし阿波地域の中でも唯一、国の重要伝統的建造物群として指定されている傾斜地集落。過去の地すべりが作った地形の上に築かれた集落では蕎麦などの雑穀をはじめとする農作物が栽培されており、古民家の宿泊施設などがある。対岸の中上集落から眺望する落合集落は圧巻。



②「カクン折れ曲がる吉野川の成り立ちを探る」コース 約3時間

吉野川は、池田町イタノあたりで大きく流れを東へ変えています。そして、この付近から吉野川の平野が広がっていき、藍作や吉野川を活用した水運など、吉野川と関係する生活文化が築かれました。現在の吉野川の流れを作った大元を探りに行くコース。



馬場展望台 場所 徳島県三好市池田町西山 MAP QR

吉野川の流れが大きく変わるのを眺める場所は?...それに適した場所が馬場展望台!大歩危小歩危から北へ流れていた吉野川が水際公園(池田町イタノ)付近から大きく東へ流れを変えている様子一望することが可能。馬場展望台からは、吉野川中流域の平野(池田町)も眺むことができる。



五感で楽しもう!三好ジオパーク構想の体験プログラム

アウトドアスポーツ

吉野川のラフティング

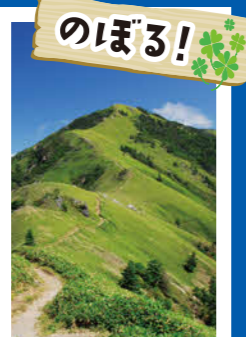
大歩危小歩危付近は、水量豊富な吉野川と急峻な地形が作る瀬が点々とあり、世界レベルの激流を生み出しています。その自然環境を活かしたウォータースポーツであるラフティングがアクティビティとして気軽に体験することができます。ラフティングのシーズンは春(5月くらい)~秋(10月ごろ)までと国内でもオンシーズンが長いのも特徴です。



お問合せ:三好市観光協会TEL:0883-76-0877

四国山地の高峰をトレッキング

三好ジオパーク構想の南東部には、西日本で2番目に高い剣山(1955m)をはじめ、高ノ瀬(1741m)、三嶽(1894m)、天狗塚(1812m)などの剣山系の高峰が東西方向に連なっています。剣山は中腹まで登山リフトがあるため、気軽に山登りを楽しむことができます。剣山系では、高山性の樹木や風衝草原が広がり、四季によって変化するので、様々な季節に登ってみるのもオススメです。



お問合せ:三好市観光協会TEL:0883-76-0877

その他プログラム

祖谷の蔓橋

昔は傾斜地集落とおしの交通路として使われていた蔓橋は、現在観光名所となっています。シラクチカズラで組まれた橋、その下を流れる祖谷川の絶景をぜひ体験してみてください。



場所 徳島県三好市西祖谷山村善徳162-2

場所 大人:550円/人 小人:350円/人

大歩危峡の遊覧船

大歩危小歩危の急峻な地形を気軽に臨むことができるのがこの大歩危峡の遊覧船。固い岩盤と水量豊富な吉野川が魅せる絶景は、気象や四季によって変化し、常に違う表情を見せてくれます。



場所 徳島県三好市山城町西宇

場所 大人:1,500円/人 小人:750円/人

これぞ... ジオ飲み

ひららやき 傾斜地畑の農作物やアマゴ(アマゴ)を味噌で煮て器に出しました。

地酒 吉野川の伏流水や竜ヶ岳の水を使ってます。

羊羹 かつては、吉野川の水運で運んできた砂糖や寒天を使って作られていた。現在は三好を代表する甘味となっている。

祖谷の豆腐、こんにやく、そばもちからなる味噌田楽をこのように呼んでいます!

祖谷そば 傾斜地畑で育てた蕎麦から作られる祖谷そば。折れたら食べないわけにはいかない名物中の名物!

他にもたくさん!

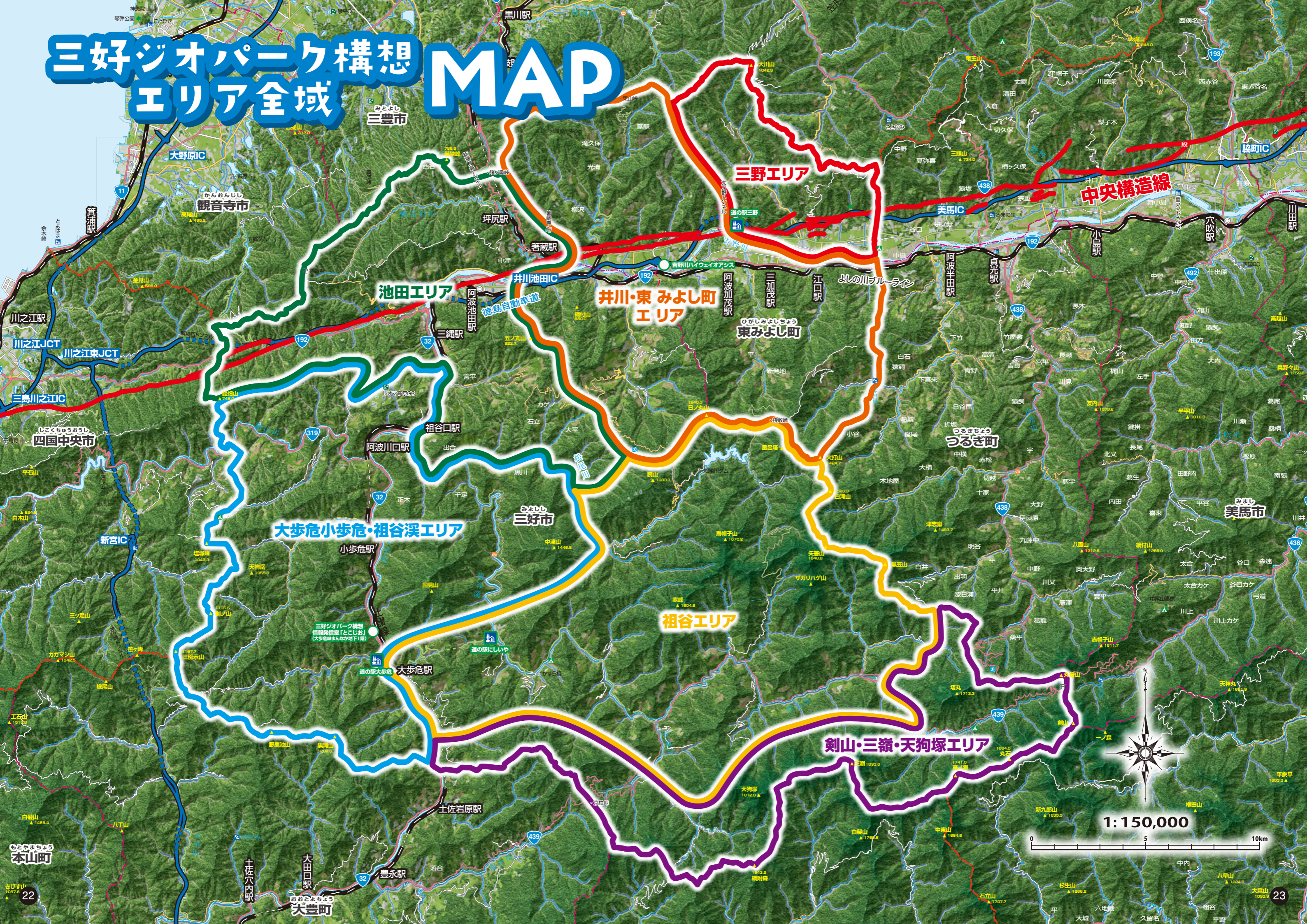
三好ジオパーク構想エリアのガイドさん お問合せ&お申込み先:三好市観光協会(TEL:0883-76-0877)

<p>池田地区・大歩危周辺</p> <p>みよしジオガイドの会</p> <p>三好ジオパーク構想の歴史文化や生き物とジオ(大地)とのつながりをテーマにしたツアーを行う。池田市街地を巡るコースと、大歩危周辺を巡るコースがある。</p> <p>料金 1000円/人(2時間未満)</p> <p>予約 3日前まで</p>	<p>祖谷地方</p> <p>よびごと案内人</p> <p>祖谷の蔓橋、祖谷溪、平家屋敷、落合集落、かかしの里、奥祖谷二重蔓橋などTVでもよく紹介される祖谷の名所を地元ガイドが案内します。</p> <p>料金 3,000円/10人(1時間あたり)</p> <p>予約 一週間前まで</p>	<p>井川町辻地区</p> <p>辻町ガイドの会</p> <p>井川町辻地区はかつて刻みだした葛で繁栄し、うだつの上がつた家などの古い町並みが残っている。川港や渡し場のあった「辻の浜」は必見!</p> <p>料金 700円/人</p> <p>予約 3日前まで</p>	<p>善蔵寺</p> <p>善蔵寺アニマル・ミステリーツアー</p> <p>三好市池田町善蔵にある善蔵寺は、讃岐山脈中腹に建立された神仏混合の寺院。吉野川の水運が盛んだった際に活躍した川の灯台である「高灯籠」がある。</p> <p>料金 1,000円/人(10名以上は800円/人)</p> <p>予約 3日前まで</p>	<p>山城町</p> <p>やましろ戦国園さかめぐりの会</p> <p>山城町を中心に、国さかめの歴史をたどるウォーキングや藤川谷の妖怪ウォーキング、スポーツイベントなど楽しみながら紹介します。</p> <p>料金 イベントごとに設定</p> <p>予約 イベントごとに設定</p>
--	---	--	--	--

情報が収集できる施設

<p>三好ジオパーク構想情報発信室「とこじお」</p> <p>三好ジオパーク構想エリアの旅の始まりの場所として、様々なジオ情報を入手する拠点として開設しています。三好の大地の成り立ちや、それと関係する歴史文化や生態系などを説明したパネルの展示や傾斜地畑が体験できるコーナーなどがあります。</p> <p>場所 徳島県三好市山城町西宇1520(大歩危峡まんなか地下1階)</p> <p>営業時間 AM9:00~PM4:00 定休日 無休 TEL 0883-72-7653</p>	<p>かずら橋イベント広場</p> <p>祖谷の蔓橋の情報収集はここで。館内には、かずら橋の架け替えの様子などをイラストで解説している。</p> <p>場所 徳島県三好市西祖谷山村今久保345-1</p> <p>営業時間 4月~11月 AM9:00~PM6:00 12月~3月 AM9:00~PM5:00</p> <p>定休日 年中無休 TEL 0883-87-2200</p>
<p>道の駅三野</p> <p>吉野川沿いにある道の駅。敷地内にはジオサイト「太刀野の中央構造線」がある!</p> <p>場所 徳島県三好市三野町太刀野1909-1</p> <p>営業時間 AM9:00~PM5:00</p> <p>定休日 月曜日※祝日の場合は翌日 農産物販売所は年末年始 TEL 0883-76-2050</p>	<p>東祖谷歴史民俗資料館</p> <p>祖谷地区の人々の暮らしを伝える民俗資料を多数展示。(入場料金大人410円/人、中学生210円/人、小人100円)</p> <p>場所 徳島県三好市東祖谷京上14-3</p> <p>営業時間 AM10:00~PM4:00</p> <p>定休日 水曜・12月~2月の土・日・祝日・年末年始 TEL 0883-88-2286</p>
<p>道の駅大歩危</p> <p>大歩危峡の南側に位置する道の駅で館内には妖怪屋敷(大人700円/人、小人350円/人)も併設。</p> <p>場所 徳島県三好市山城町上名1553-1</p> <p>営業時間 AM9:00~PM5:00</p> <p>定休日 3~11月:無休 12月~2月:火曜日※祝日の場合は翌日 TEL 0883-84-1489</p>	<p>三好市観光案内所</p> <p>三好市に関する観光情報、ルート、宿泊情報をここでゲットしよう!</p> <p>場所 徳島県三好市池田町サラダ1810-18(阿波池田駅東側)</p> <p>営業時間 AM9:00~PM6:00</p> <p>定休日 年末年始 TEL 0883-76-0877</p>
<p>道の駅にしいや</p> <p>蔓橋へ行く県道45号線沿いにある道の駅。祖谷そばなどの祖谷地区ならではの郷土料理も楽しめる。</p> <p>場所 徳島県三好市西祖谷山村尾井ノ内348-2</p> <p>営業時間 AM9:00~PM5:00 冬期(1月~2月)AM10:00~PM4:30</p> <p>定休日 売店は12月20日~2月末まで不定休 TEL 0883-87-2670</p>	<p>吉野川ハイウェイオアシス</p> <p>四国のお土産、お食事、日帰り温泉があり便利。遊具施設もあり、ファミリーでゆっくり滞在できます。</p> <p>場所 徳島県三好市東みよし町定代1650番地</p> <p>営業時間 物販 平日 AM9:30~PM6:30 土日祝 AM9:30~PM7:00 温泉施設 AM10:00~PM8:00(受付止PM8:30) お食事 予約つき AM11:00~PM8:00(L.O.PM7:30) 他、店舗や季節により異なる</p> <p>定休日 不定休 TEL 0883-79-5858</p>
<p>東みよし町歴史民俗資料館</p> <p>一般展示室では旧石器時代から現代までの文化財、民具展示室では古くから使われてきた工具や祭祀に利用されていた生活用具などが展示されています。</p> <p>場所 徳島県三好市東みよし町中庄1189番地</p> <p>営業時間 AM9:00~PM16:30</p> <p>定休日 月曜・土曜・祝日 12/25~1/5 TEL 0883-82-3964</p>	

三好ジオパーク構想 エリア全域 MAP



中央構造線

三野エリア

池田エリア

井川・東みよし町
エリア

大歩危小歩危・祖谷溪エリア

祖谷エリア

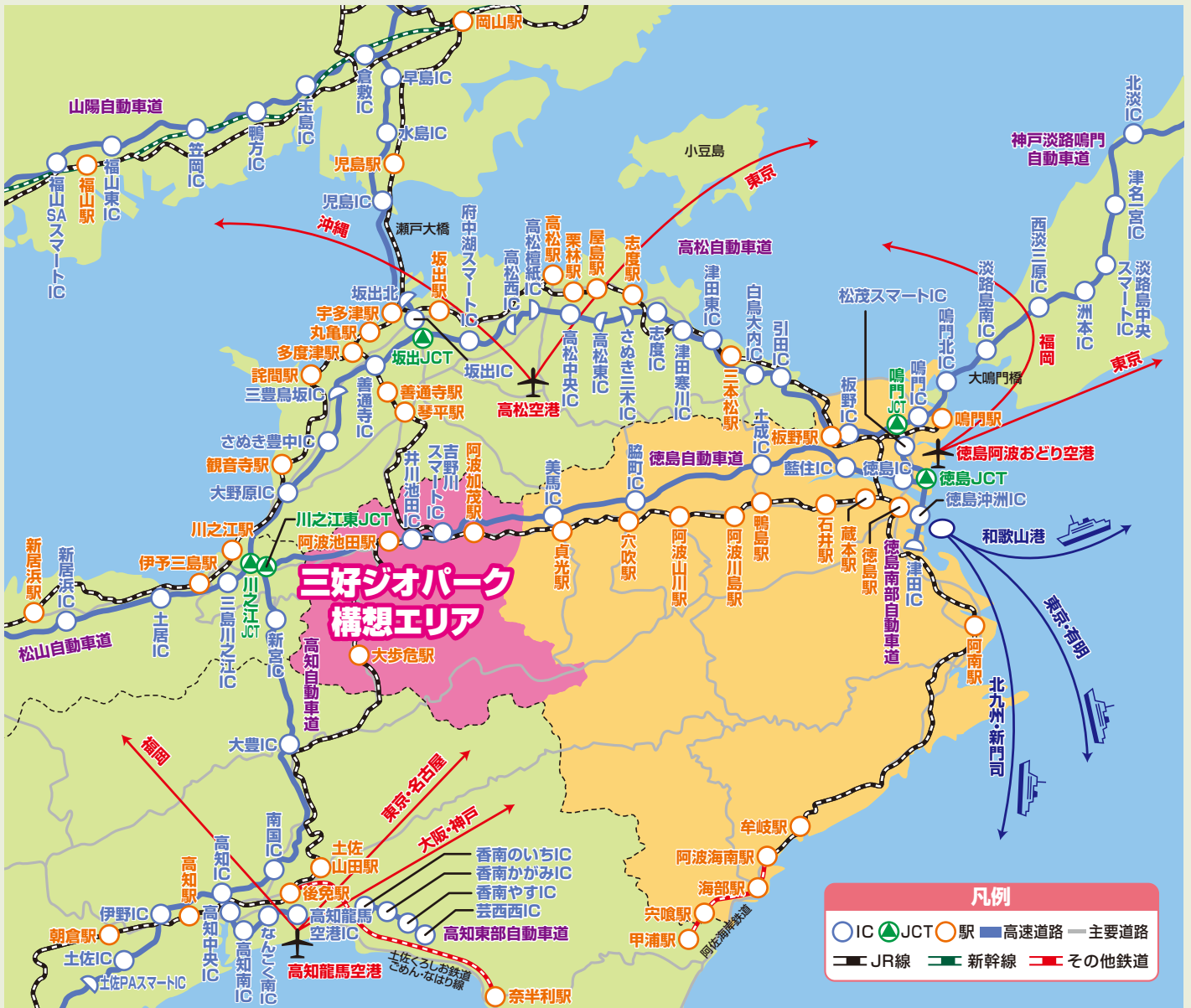
剣山・三嶺・天狗塚エリア

1:150,000

0 5 10km



徳島へのアクセス(区間距離)



三好ジオパーク構想へAccess

(三好市・東みよし町)

アクセス所要時間

●JR	○東京駅から	岡山駅	阿波池田駅	約5時間	
	○新大阪駅から	岡山駅	阿波池田駅	約2時間30分	
	○岡山駅から		阿波池田駅	約1時間30分	
	○徳島駅から		阿波加茂駅	約1時間10分	
	○高松駅から		阿波池田駅	約1時間	
	○高知駅から		大歩危駅	約1時間	
	○松山駅から		多度津駅	阿波池田駅	約3時間
	○阿波池田駅から		大歩危駅	約20分	
	○阿波池田駅から		阿波加茂駅	約10分	

●車	○神戸から	徳島	阿波池田	約2時間30分
	○岡山から	普通寺	阿波池田	約1時間40分
●空港から(車で)	○高知龍馬空港から大歩危まで			約1時間20分
	○高松空港から阿波池田まで			約1時間20分
	○徳島阿波おどり空港から阿波池田まで			約1時間20分
●高速バス	○大阪から	三好BS(吉野川ISA)	阿波池田バスターミナル	約3時間50分 約4時間
	○神戸から	三好BS(吉野川ISA)	阿波池田バスターミナル	約3時間20分 約3時間30分

※阿波池田と大歩危の間は約30分です。
※阿波池田と東みよし町の間は約20分です。



お問い合わせ

三好ジオパーク構想推進協議会

〒778-0002 徳島県三好市池田町マチ2145番地1 三好市役所分庁舎内
TEL 0883-72-7653 FAX 0883-72-7690 URL: <https://miyoshi-city.jp/geopark>